

業績概要および 中期経営計画の進捗

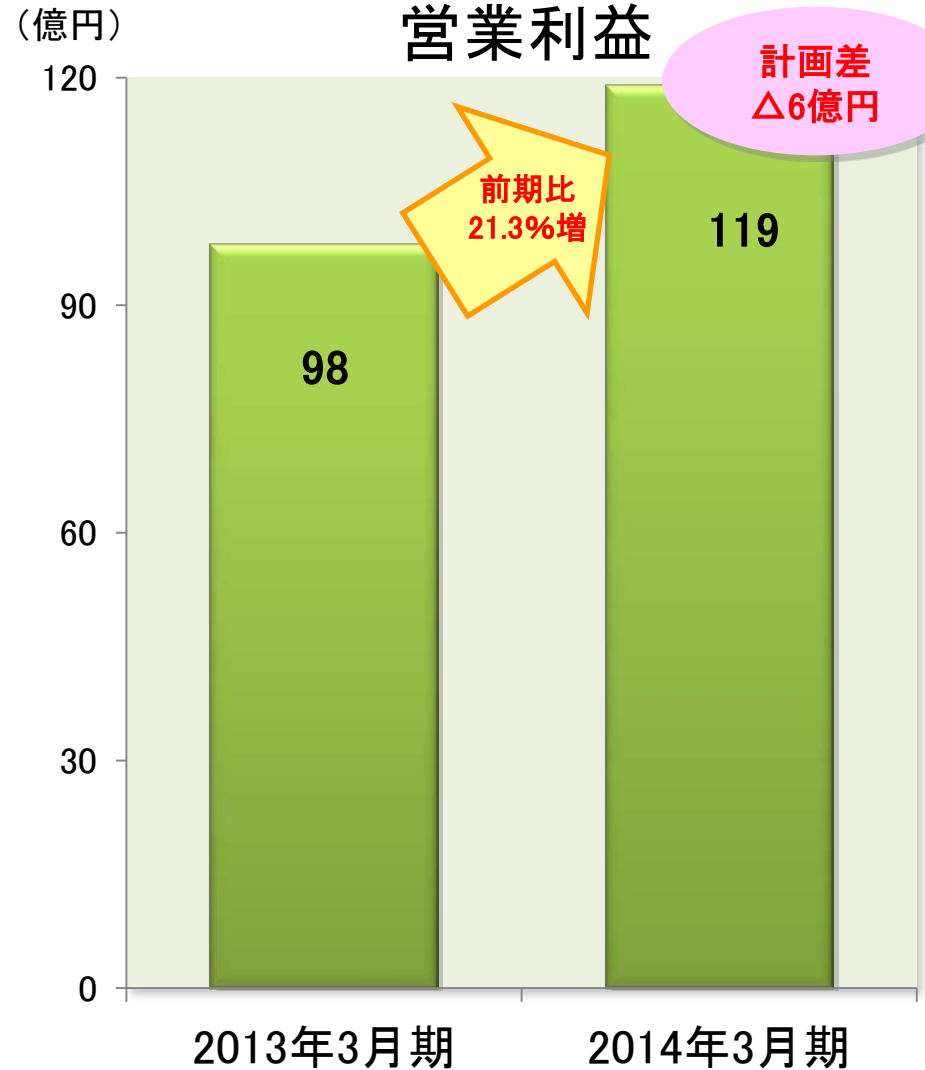
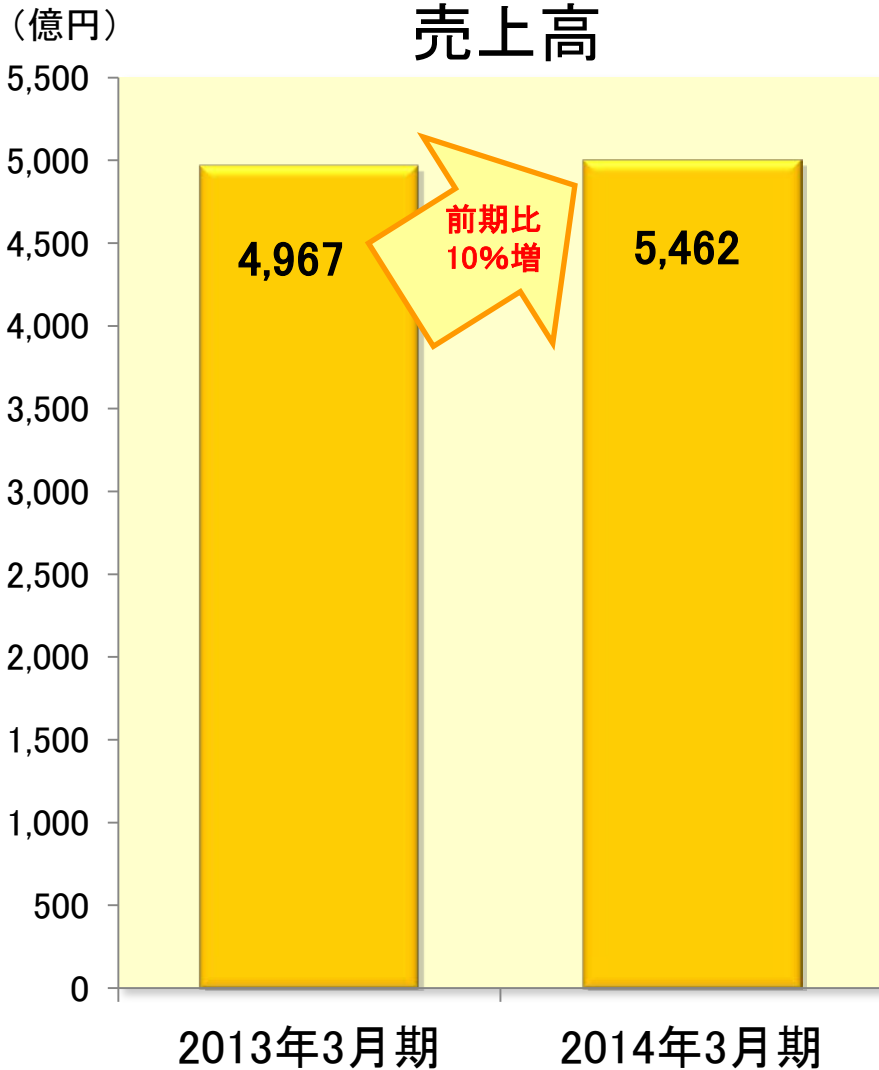
2013年11月5日

日本ハム株式会社
代表取締役社長
竹添 昇

- 1) 2014年3月期中間決算概要
- 2) 2014年3月期と中期経営計画の見通し
- 3) 新中期経営計画パートⅣの進捗状況
- 4) 重要ファクターについて

1、2014年3月期中間決算概要

計画未達成だが、前期差では増収・増益確保



1、2014年3月期中間決算概要

営業利益の計画と乖離要因

※計画は、第1四半期時点で見直した計画

(億円)

事業本部	計画	実績	計画差	乖離要因
加工事業	30	17	△ 13	<ul style="list-style-type: none"> ・海外製造品の利益率悪化 ・販促強化に伴う経費増 ・コストダウン効果の計画未達
食肉事業	83	91	8	<ul style="list-style-type: none"> ・豪州事業の大幅改善
関連企業	4	2	△ 2	<ul style="list-style-type: none"> ・原材料高に対する価格転嫁遅れ
消去調整他	8	9	1	
合計	125	119	△ 6	

1、2014年3月期中間決算概要

豪州事業の改善状況

● 豪州牛肉の販売拡大（上期実績）

主な販売先国	数量構成比	数量（昨年比）
日本	21%	96%
米国	18%	159%
韓国	11%	158%
中国	10%	495%
台湾	5%	106%
豪州国内	24%	117%

【合計】数量（昨年比） 134%

- 販売体制の刷新、ブランド商品の販売強化
- 牛生体の仕入価格と為替（豪ドル安）の安定
- ファームの生産性改善、処理工場の稼働率向上

2、2014年3月期と中期経営計画の見通し

2014年3月期 通期営業利益

(見込み) 340億円

※営業利益の計画変更なし

来期(中計最終年度)

営業利益 : 430億円

当期純利益 : 220億円 に挑戦

2、2014年3月期と中期経営計画の見通し

● ポジティブ要因

食肉：豪州事業の大幅改善
米国養豚事業の回復
国内食肉相場回復と売上増
加工：価格改定効果と数量増

● ネガティブ要因

加工：昨年度のファイターズセールスの反動
関連：原材料価格の高止まり

3、新中期経営計画パートⅣの進捗状況

変革のポイント 2012年5月発表

①成長・効率化戦略への積極的な投資による収益の拡大

②株主重視の経営

③資本戦略の推進

④グループブランド価値の向上

3、新中期経営計画パートⅣの進捗状況

①成長・効率化戦略への積極的な投資による収益の拡大

●加工事業：茨城工場建て替え

（業務用商品棟）

【投資：約70億円、2014年4月竣工予定】

→高生産性ラインの導入

（生産能力）

新ライン 6,000トン/年 アップ



（新棟稼働後）

茨城工場全体 42,000トン/年



（写真）日本ハムファクトリー 茨城工場 新規棟完成図イメージ

3、新中期経営計画パートⅣの進捗状況

- 加工事業：鎌倉ハム富岡商会工場建て替え
【投資：約20億円、2015年9月竣工予定】
→高付加価値商品の強化



(写真)鎌倉ハム 新工場完成図イメージ

- 食肉事業：国内鶏ファーム増強
【投資：約20億円】
→(2014年3月期)出荷能力6,750万羽(5%増)へ

3、新中期経営計画パートⅣの進捗状況

- 関連企業：宝幸ロールフ大和工場移転・新設
【投資：約70億円、2015年夏頃竣工予定】
→生産能力の増強

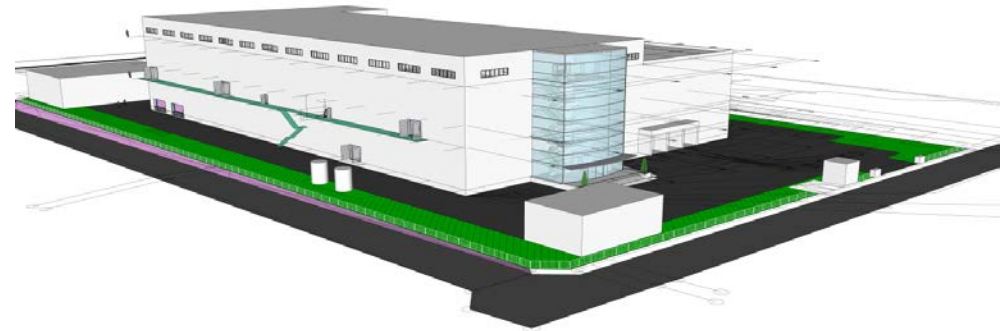
(生産能力)5割増



(新工場稼働後)

大和新工場全体

約10,000トン/年



(写真)ロールフ大和工場 新工場完成図イメージ

- 関連企業：宝幸ロールフ西宮
【投資：約5億円】
→ベビースライズライン増強

3、新中期経営計画パートⅣの進捗状況

②株主重視の経営

▶ 連結配当性向30%、自己株取得、一株当たり利益の向上

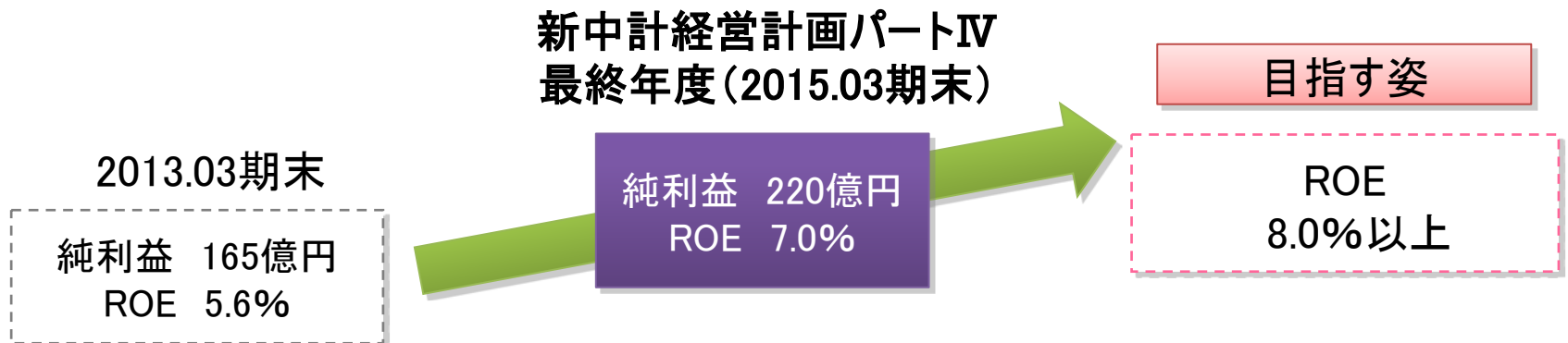
③資本戦略の推進

● 当期純利益の重視

※(上期純利益)計画: 60億円 → 実績: 76億円

● ROE重視

→併せて資本効率も高めながら、ROEを向上



3、新中期経営計画パートⅣの進捗状況

④グループブランド価値の向上

▶ コーポレート・コミュニケーション活動の継続

● グループフェアの実施（7月、8月）

- ・グループブランド価値向上を目的とし、グループ商品の幅広さを伝える【43チェーンで実施】



● コミュニケーション活動の実施

- ・出前授業、手作り体験教室
- ・ハムリンズ食育教室
- ・視覚障がい者料理教室 など



(写真) 出前授業・手作り体験教室



(写真) ハムリンズ食育教室

4、重要ファクターについて

- ①加工事業の数量拡大策
- ②国内ファーム事業の収益改善
- ③豪州事業、米州事業の状況
- ④海外事業の進捗

① 加工事業の数量拡大策

● 下期の施策

→ 重点商品群の販促強化

(来年のシャウエッセン30周年に向けて)



(シャウエッセン新テレビCM)

→ 歳暮ギフトの拡販

(中元: 102%実績、歳暮: 103%達成を目指す)

(前年個数比)



フラッグシップギフト『美ノ国』
目標120% (構成比18%)

(前年個数比)



② 国内ファーム事業の収益改善

(相場見通し)

- ・牛肉相場・・・高値安定(国内頭数減で相場高)
- ・豚肉相場・・・前年対比で相場高
- ・鶏肉相場・・・上昇基調(8月猛暑影響による供給タイト感)



● 下期の施策

- 国内ファームの収益改善を見込む
- ブランド食肉の生産増、生産性向上を図る

③ 豪州事業、米州事業の状況

豪州事業

- ・季節要因により、牛生体の仕入コストは上昇
- ・生産性向上とコスト削減策の継続
- ・ブランド展開と販売強化の継続



米州事業

(養豚事業) 生産性向上も図り収益は改善傾向
 (国内販売) 現地内販強化で安定収益を図る
 サンフランシスコ支店の開設

④ 海外事業の進捗

ベトナム

新たに直販営業所を新設（ハノイ、ホーチミン）
拡販体制の整備、加工食品への参入

フィリピン

マニラに事務所開設、豪州牛肉の拡販

台湾

現地企業と合併でエキス事業を立ち上げ（2015年3月工場稼働予定）

ドイツ

デュッセルドルフに事務所開設、ドイツ豚の拡販

ミャンマー

養鶏事業を開始、2015年度の農場稼働に向けて準備中

お問合せ先
〒141-6014 東京都品川区大崎2-1-1
ThinkPark Tower 14階
日本ハム株式会社 広報IR部
電話：03-4555-8024
FAX：03-4555-8189

見通しに関する注意事項

本資料は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定した数値であり、潜在的なリスクや不確実性などを含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。

また実際の業績等も本資料における見通し、計画等とは大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに依拠して投資判断を下すことはお控え下さい。

なお、将来における情報・事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、日本ハムグループは当中期経営計画を見直すとは限らず、またその義務を負うものではありません。